

**「多可町生涯学習まちづくりプラザ建設基本計画(素案)」「多可町図書館基本計画(素案)」
ご意見の概要と町の考え方(回答)**

■募集期間 令和4年2月1日(火)～2月28日(月)

「多可町生涯学習まちづくりプラザ建設基本計画(素案)」に対するご意見

■提出者 9人(9件)

No	ご意見の概要	町の考え方
1	<p>設計デザインの業者選定を公開で実施し、今後の多可町を担う若者にも是非議論を見守って欲しい。 大勢の人々がお越しになるのが良いので、町外からも1度は行ってみたい施設を建設して欲しい。(参考施設を例示) 木造などで建設、地元業者とのJVなど住民参加出来る方式も良い。</p>	<p>今後、設計デザインの段階において、広く町民の意見を反映できる方法を検討していきます。 町の新しいシンボルとなるような施設を目指し、予算の範囲内で検討していきます。例示いただいた施設は、今後の検討の参考にさせていただきます。 設計・建設の段階において、構造や発注方法について検討していきます。 よって計画には反映しませんが、事業実施の中で検討を進めていきます。</p>
2	<p>建設に反対です。人口減少の激しい多可町に、新しいハコモノはいりません。今、行政が取り組むべきは、人口流出を減らすための施策、保育料の全面的無料化と給食費の無料化など、より良い子育て環境を整えることではないでしょうか？税金を使う順番が間違っていると思います。</p>	<p>町政及び教育行政へのご意見として賜ります。 人口減少社会を迎える中で、持続可能な町をつくるためには、次世代のまちを担うひとづくり・まちづくりをみんなで目指し、「生涯学び続けられるまち」を実現することが必要と考えています。そして、そのための拠点施設が必要と考えています。 また、中コミュニティプラザ、多可町図書館の現状・課題の克服、多様な生涯学習ニーズに対応できる機能・施設の充実のために、将来に向けて投資することは必要と考えています。公共施設等再配置計画との整合性も図りながら、施設の統廃合も視野に検討を進めていきます。 第2次多可町総合計画においては、本施設の必要性を「基本目標5 子どもの元気な声があふれ、生涯にわたり笑顔で暮らせるまち」の「施策29 生涯を通して、学び、教え合う生涯学習を推進する」の中で位置付けています。また、(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会では、子育て世代委員からも本施設の整備に前向きな意見をいただきました。 本計画は人口減少対策の一端を担い、また、年代を問わず町民が集い、交流し、つながる拠点施設を目指していますので、若者世代・子育て世代への施策と併せて事業を推進していきます。 ご理解賜りますよう、お願いいたします。</p>
3	<p>施設が全く不用だとは言いませんが、いくらお金があっても足りないときに、この施設を新たに建設することには反対です。 子育てする若い人には、保育料や学校給食費の無料化の方が魅力があると思います。</p>	<p>2番をご覧ください。</p>

4	<p>人口減少の中で、生涯学習まちづくりプラザそのものが必要ないと思います。どうしてもというのなら、今使用されていない公共建物がたくさんあります。その建物のどれか（特に小学校等）を改修したら、経費も安くつくと思います。合併特例債を使うと言っても、結局は借金です。</p>	<p>建設候補地の選定にあたって空き施設の利用の可否について調査・検討しましたが、適当な施設・適地はありませんでした。</p> <p>また、既存施設を改修する方が初期投資コストは安くなりますが、その既存施設の寿命は変わらず、適切な規模・設計をした施設に比べて維持管理コストが高くなる傾向にあります。また、施設の目的を達成することに制限があります。むしろ立地条件や利便性、他施設との連携・相互利用を図ることのメリットが大きいと考えましたので、新設を前提に検討しました。</p> <p>財源については、長期財政計画の中で相応の支出を見込んでいます。今後もより優位な財源について、検討を進めていきます。</p> <p>ご理解賜りますよう、お願いいたします。</p>
5	<p>多可町にこれ以上新しいハコモノはいらない。建設に莫大な費用がかかるし、維持費にも毎年お金がかかる。</p> <p>そんなお金があるのなら、保育料や給食費を無料にして欲しい。また、若者が多可町に住みやすいように、家賃補助の制度を作る必要がある。</p> <p>多可町が「子育てしやすい町、若者が住みやすい町」にすることこそ必要で、そこにお金を使うべきだと思う。</p>	<p>2番をご覧ください。</p>
6	<p>できることなら、2階建てにさせていただきたいです。スペースはいくらあっても必要になると考えるからです。</p>	<p>バリアフリーの観点から平屋造が望ましいと考えますが、建設場所(敷地)により、2階建ても検討します。</p> <p>よって計画には反映しませんが、今後、基本計画策定・設計段階において、改めて検討します。</p>
7	<p>検討委員会の議論を振り返ってみて、ハード的要素に集約された感が否めないように思います。現状の図書館や中プラザの抱える課題もハード的課題が挙げられていますが、利用者状況の分析、住民の意見などをどう活かすかというPDCAとしての議論がなかったように思います。</p> <p>どんな組織体制にするか、どの分野にフォーカスするか、うまくいっている生涯学習センターはどう運営しているのか、SDGsとの連携はどうするか、等の本来のソフト観点での議論はなかったように思う。</p> <p>SDGsとも絡めて、文化活動だけでなく運営の財源を自身で生み出せる運営組織を検討すべきと考えています。(参考資料を添付)</p>	<p>(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会において、時間的な制約により十分な検討・検証の時間が取れない中で検討を進めていただいたこと、感謝申し上げます。</p> <p>運営体制・組織やSDGsとの関連性については、添付いただいた資料も参考とさせていただきます。</p> <p>よって計画には反映しませんが、今後の施設運営を考える中で、継続して検討していきます。</p>
8	<p>私は建設基本計画に反対します。多可町に箱モノはもう要りません。</p> <p>人口が減り、税収も減少する中、13億円以上の税金をかけ箱モノを建設して、町民の福祉や幸せに繋がるでしょうか？</p> <p>私は尊い血税は子育てと教育にこそ使って欲しいと思います。子どもが減少している今こそチャンスで、子どもへの投資は未来への投資です。子育て、教育に賛沢と思うほど税金を使い、「豊かな教育の町」多可町にして下さい。</p> <p>子育て支援県下一、子どもの教育県下一こんな多可町して下さい。</p>	<p>2番をご覧ください。</p>

<p>9 生涯学習センターや図書館の充実を図ることには賛成ですが、新しいものを建設をするのは反対です 前回この計画が話し合われた際、役場は「そもそもセンターそのものが必要ありません」と答弁しています。 今中学校の統合が同時進行のように行われている現状で、利活用できる既存施設がないと言えるのでしょうか？改修工事は新築よりずいぶん安価でできるはずです。中学校の統合も基本的には反対ですが、やむなく統合されるにしても既存の校舎3校のうちどれかを使うべきです。学校は地域の防災設備や文化など、地域の宝物だと思います。もし廃校にするなら、どういう利活用をするか、十分地域の人と話し合ってから進めるべきだと思います。</p>	<p>中学校の統合については、現時点では具体的な統合(廃校)の時期は決定していませんので、今後利活用の検討を進めていきます。 また、2番、4番もご覧ください。</p>
---	---

「多可町図書館基本計画(素案)」に対するご意見

■提出者 2人(2件)

No	ご意見の概要	町の考え方
1	<p>1. 図書館のイベント等の運営組織とその活動の経済的支援に関して 地域を活性化している個人、NPO 法人、任意団体、学校、企業等で組織化された運営委員会を組織化することを提案します。そして彼らの活動拠点を図書館にすること、年間活動計画を立てて他のグループとの調整を行うこと、図書館祭りの主催組織をこの運営委員会にすること等の仕掛けを通して、より図書館を機能的に地域活性化の拠点にすることを提案します。館長や事務員はそのサポート役(事務局)になります。そして彼らの活動がより促進されるために、活動費等の補助を行える仕組みを役所との連携で実現すべきかと思ひます。場合によっては、彼らの活動内容に沿った補助金申請を行うことも必要かと思ひます。NPO じーばの活動経費、歴史史料編纂作業、地域名所地図作成、読み聞かせ運動など地域を盛り立てる活動をサポートすべきだと思ひます。</p> <p>2. 図書館が色々な情報を参照(=リファレンス)する場所であるとのことですが、図書館をこのように使ってください、という情報発信を図書館が行う必要があると思ひます。例えば、村づくりの面白い事例、地方創生の成功した例、或いは地方での起業例等、こういう情報を図書館が地域に発信することによって、住民の方々が「図書館ってそういう情報があるんだ。」と思ひます。住民はそういうことを知りません。一部の意識の高い人だけが知っている情報を住民に知らせます。そういう仕組みを構築することが重要です。5~10年ほどかけてそういう情報発信を行って初めて、リファレンス機能が生きて来るのではないかと思ひます。そういう啓蒙活動があって初めてリファレンスが有効になろうかと思ひます。小中高に関しては、もう少しアプローチを変えてリファレンス機能を向上することが出来るかと思ひます。図書館コンクールに応募を促すとか、プログラミングの動画を配信とか、英語学習の講師を派遣するとかやり方は色々あるかと思ひます。その中で図書館を利用して、より深い知識を得たいと思う子を育てる。この田舎の図書館でも世界中の最新、最先端の情報を取り込めます、ということを知ってもらふベースづくりが必要だと思ひます。住民の方が、興味を持てる情報発信を根気強く行う必要があるかと思ひます。待っている図書館ではなく、自ら動く図書館を目指さないとリファレンス機能は活躍しないとと思ひます。</p>	<p>1. については、素案P.20(6)「ボランティア活動」で上げている内容と重なると思ひます。また、現在も、ボランティア活動を統合するグループとして「サポート・ねっと」が自主的に組織されています。そして、子どもたちへの読み聞かせ活動をはじめ、長年にわたる全般的な運営ボランティアとして図書館行事の企画運営(図書館まつりを図書館と協賛で実施するなど)、図書館だよりの編集、布絵本の製作などの継続的なボランティア活動が高く評価され、平成22(2010)年に「ひょうご県民ボランティア賞」、平成23(2011)年に「子どもの読書活動優秀実践団体に対する文部科学大臣表彰」を受賞された経緯があります。今後、さらに活発なボランティア活動が継続されるように支援をおこないます。</p> <p>2. については、素案P20④「町民の調査・研究への援助」、⑤「ビジネス支援サービス」、⑥「郷土資料・行政資料サービス」、⑦「インターネットサービス」及び、P.13(3)②「子どもや青少年を育て、学校園の図書室と図書館の連携」P.21(8)「ネットワークの構築」の内容と重なると思ひます。ご提案のとおり、図書館からの各種の情報の発信に努め、効果的な講座やイベントの開催により、図書館が知識の宝庫であり、色々な課題や問題の解決に有効な施設であることを周知し、一般、乳幼児とその保護者、児童、生徒、高齢者、障がいのある方や来館が困難な方にも利用してもらふように、図書館事業を推進します。よって計画には反映しませんが、今後も図書館事業を推進していきます。</p>

<p>2 学校図書館との連携について、学校図書館がもっと活用されるように、機能的かつ具体的に基本計画に盛り込んで欲しい。</p> <p>新図書館と学校図書館をネットワークでつなぎ、本の貸借や登録など、協力体制を整えて欲しい。</p> <p>小・中学校図書館には、学校司書を派遣してほしい。</p> <p>保育園、幼稚園（公立私立問わずに）などにも移動図書館を派遣し、支援・協力関係をより深くしていくというのはどうでしょうか。</p> <p>ブックスタートの取り組みを始めるとか、乳幼児健診などで、絵本の広場を展開して、子どもと若い親を図書館に誘導する。</p> <p>図書ボランティアを育て、組織することもしっかり計画して欲しい。</p>	<p>理念実現のための図書館として、素案P.13(3)②「子どもや青少年を育て、学校園の図書室と図書館の連携」をかかげ、P.20(6)「ボランティア活動」、P.21(8)「ネットワークの構築」の部分においても更なる充実を検討しています。また、令和4年度の多可町教育方針及び主要施策においても、学校図書館の充実を図るために学校図書館アドバイザーを各小中学校に派遣することを推進していますので、具体的な活動内容につきましては、今後、より暮らしの中に図書館が根づくような施設を目指し、検討していきます。</p> <p>よって計画には反映しませんが、今後も図書館事業を推進していきます。</p>
---	---